

平成 27 年 6 月 17 日現在

機関番号：13901

研究種目：基盤研究(B)

研究期間：2012～2014

課題番号：24320038

研究課題名(和文) 戦時下中国の移動するメディア・プロパガンダ 身体・音・映像の動態的連関から

研究課題名(英文) Artistic Activities Opposing or Supporting the Empire of Japan: Song, Drama, and Dance as Propaganda Media

研究代表者

星野 幸代 (Hoshino, Yukiyo)

名古屋大学・国際言語文化研究科・准教授

研究者番号：00303587

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 11,500,000円

研究成果の概要(和文)：24 - 26年度、当該チームは日中戦期の視聴覚メディア/身体表現芸術(演劇・映画・音楽・舞踊)を対象とし、それらが様々なプロパガンダを載せ、人的ネットワークに従い移動する様を探究してきた。その結果、それらは共産党勢力区・国民党勢力区・日本軍占領地で“大日本帝国”宣伝・抗日宣伝・スパイ活動などそれぞれ異なる役割を果たし、しばしば多義的であった。これら身体的/視覚的芸術は、これまで分野別バラバラに研究されてきたが、実は文化人の移動によってネットワークを成し、深く連動している。演劇・舞踊・音楽・映画が製作者/表現者の往来で、如何にプロパガンダとして機能したか、動態的な芸術史を実証的に明らかにした。

研究成果の概要(英文)：We've been doing research on the anti-Japanese artistic activities under Japanese occupation or invasion in the 1940s. At present, we found that Chinese intellectuals or artists had to select their ways as the invasion of the Empire of Japan: to cooperate with the Japanese, to resist them, or to be a spy. Some danced to contribute to the Chinese army, others composed popular songs for the Japanese people or for the Chinese victims, and others produced anti-Japanese dramas. In many cases, these dancers, musicians, writers, movie-makers and actors worked together.

研究分野：中国文学

キーワード：プロパガンダ 移動 大衆芸術 メディア 身体

1. 研究開始当初の背景

戦時期中国の文化に関する研究については、80年代ごろまで革命的であれば即ち良とする、もしくは支配者・日本側のものを悪 VS 被支配者・中国側を良とするのが既成概念であった。時代を経て、二項対立を解体する研究が表れてきた。体制翼賛に潜む民族性や、国別文化史を超える広域文化史の可能性が探求されつつある。本研究もこれら昨今の研究に連なるものであるが、より学際的・動態的な把握を目指す。

2. 研究の目的

本研究は、上海・香港・満州・重慶・台湾において、或いはその間で移動する、身体的/視覚的芸術および音楽のメディア・プロパガンダとしての役割を再現したい。具体的には、芸術家たち/芸術がどのように往来し、演劇、ダンス、音楽、漫画などが、日本当局による宣伝・中国国民党寄り/共産党寄りの抗日宣伝・日本当局の面をかぶった抗日といった異なる目的のもと、どのようにメディア・プロパガンダとして機能したかを、動態的な芸術史として描き直すことを目的とする。

3. 研究の方法

対象とする期間: 日中戦争期 1937年7月(盧溝橋事件)~1945年8月(日本敗戦)

対象とする都市: 上海・香港・満州・重慶・台湾に焦点を置く。

対象とする文化:

映画(ニュース、アニメーション含む)、漫画、演劇(話劇)、メディア・イベント、舞踊(バレエ、モダンダンス)、音楽(クラシック、ポピュラー、民族音楽、音楽メディア)

(1) 紙媒体、ビデオテープ、レコード等の資料調査および当事者へのインタビューを行うことにより、上記の対象とする各文化形態について、製作・上演・上映・展示記録及びそれぞれの意図、出版メディアとの結びつき、人的往来とその波及効果、日中の相互受容の実態とを明らかにする。

(2) 成果発表: 「移動するメディア・プロパガンダ」を共通テーマとし「上海・香港・重慶」「満州・重慶」「満州・台湾」の地域的区切りでシンポジウムを開催し、成果発表と研究交流、調整を行う。

4. 研究成果

1930年代より既に「近代戦に伴う移動」は中国国内で見られたが、1940年代に起きた移動はより大規模であり、また比較的内陸へ大量流入したことを特徴とする。本研究で扱った文芸従事者たちは、体制に乗るにせよ逆らうにせよ、これらの大きな人的移動の中で行動をとっていたことが分かった。演劇、音楽、映画、舞踊を介したプロパガンダが、戦況に従い、共産党勢力区・国民党勢力区・日本軍占領地で“大日本帝国”宣伝・抗日宣伝・スパイ活動などそれぞれ異なる役割を果たし、しばしば多義的であった(図1)。これ

ら身体的/視覚的芸術は、これまで分野別バラバラに研究されてきたが、実は文化人の移動によってネットワークを成し、深く連動している。

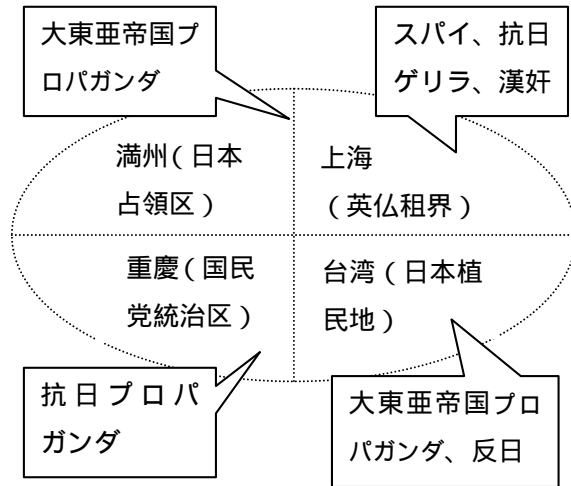


図1 日中戦争後期プロパガンダ勢力図

演劇・舞踊・音楽・映画が製作/表現者の往来を介して、如何にプロパガンダとして機能したか、実証的に裏付けつつ討議することにより動態的な芸術史を見通すことが出来た。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文](計10件)

Yukiyo HOSHINO, "Dance as a Cross-Cultural Media: Xiao-bang Wu's life between Tokyo and Shanghai in the 1930s." 2012 Proceedings: SDHS Thirty-fifth Annual Conference. Focus: Dance and the Social City. 査読有、(2012): 137-140,

星野幸代「抗日運動における舞踊家・戴愛蓮——陳友仁、宋慶齡との関わりを中心に」『東方学』第124集 東方学会 2012年7月 査読有 54-70

邵迎建、"出走"与"上楼", --- 女性.时代.政治 ---、安徽師範学院学報、Vol.1、2012、 査読有、64-70

邵迎建、日中戦争期における『吼える、中国』の公演をめぐる、中国研究月報、Vol.66、2012 No.5、 査読有、1-16.

邵迎建、抗日战争中的刘琼与"国魂"同伴、知性と創造、日中学者の思考(5)、日中人文社会科学学会、2014、 査読有、158-168

邵迎建、『春江遺恨』幕前幕後、中国現代文学研究叢刊、No.1、2014、 査読有、33-52

アンニ、1960、70年代の日本映画と80年代の中国文化空間、言語文化、Vol.31 査読無、2014、66-75

葛西 周、プロパガンダ映画の音—植民地期台湾の映画フィルムにおける聴覚的要素についての予備的研究、中国語中国文化 (12) 2015年3月、査読有、48-66

Amane, KASAI. Music and Tourism in Early Modern Japan: Hot Spring Resorts as Tourists' Musical Community. Soundtracks Conference: Music, Tourism and Travel, 2012年8月 査読有、1-12

Amane, KASAI. Dancing All the Way to the War: Disciplinary Power in Exercising to Music in Early Modern Japan. 演劇映像学 2011第5集、査読有、2012年3月、65-80

[学会発表](計15件)

星野幸代「台湾現代舞踊における石井漢の系譜—軍事慰問団から白色テロまで」国際シンポジウム「戦中・戦後における身体芸術とメディア：台湾・中国・日本の連鎖」2014年7月13日、名古屋大学

星野幸代「抗日舞踊在育才学校——陶行知、戴爱莲、吴晓邦的合作」国際ワークショップ「日中戦争期における日中芸術のコラボレーション展開」2014年9月6日、名古屋大学

Yukiyo HOSHINO. Intercultural communication through classical ballet in China: Transformation from Occidentalism to Orientalism. "Intercultural Communication between China and the Rest of the World: Beyond (Reverse) Essentialism and Culturalism?" University of Helsinki, Finland, 2014/6/6

Yukiyo HOSHINO. A Dancer amid the Conflict between the Empire of Japan and China: Xiao-bang Wu's Artistic Activities from 1938 to 1941. World History Association "Empire, faith and conflict." University of Notre Dame Australia, 2013/10/4

Masao NISHIMURA. A Chen Gexin in the 1949's. World History Association "Empire, faith and conflict." University of Notre Dame Australia, 2013/10/4

To YO. Stage Performance Propaganda in

the Sino-Japanese War. World History Association "Empire, faith and conflict." University of Notre Dame Australia, 2013/10/4

Yukiyo HOSHINO. "Artistic Activities of the China Defense League and its Role as the Center of the Artistic Sphere in Chongqing." XIX Biennial Conference of the European Association of Chinese Studies (EACS) Paris, 2012/9/5

邵迎建 占領区上海における二つの選択、日中人文社会科学学会主H24年度総会、電気通信大学(東京) 2012年6月17日

To YO. "Moving Stage: Traveling Dramatic Troupes in Wartime China (1937-1945)." XIX Biennial Conference of the European Association of Chinese Studies (EACS) Paris, 2012/9/5

楊韜、民国报人的政治呐喊—以邹韬奋的宪政主张为例、台湾・東呉大学、2012年5月22日

西村 正男、混淆・越境・オリエンタリズム—「玫瑰玫瑰我愛你」(Rose, Rose, I Love You)の原曲とカバー・ヴァージョンをめぐって、第70回大阪市立大学中国学会(招待講演)大阪府立大学文化交流センター

アンニ、冷戦下の日中映画往復、名古屋大学大学院文学研究科附属日本近現代文化研究センター・セミナー・シリーズ「東アジア関係学の構想 越境する言語・映像・文学」(招待講演) 2012年7月19日、名古屋大学

Amane, KASAI. Purified Music by Cultural Imperialists: Representation of "Decadent Music" in Japan-occupied Manchuria. The 2nd Biennial Conference of the East Asian Regional Association of International Musicological Society 2013年10月18日

楊韜「国共攻防戦中の生活書店(1932~1949)」国際会議「中国新聞史国際研討会」台湾・世新大学、2012年5月24日

Yukiyo HOSHINO. "Dance as a Cross-Cultural Media: Xiao-bang Wu's life between Tokyo and Shanghai in the 1930s." "Dance and the Social City" 14-17 June, University of the Arts, Philadelphia, PA, USA. 2012/6/16

〔図書〕(計3件)

邵 迎建、北京大学出版社、当我们年輕時 抗戰時期話劇人訪談錄、2013、255

西村正男 他、関西大学出版部、越境の映画史、2014、267

星野幸代 他、上海人民出版社、上海租界与蘭心大戲院——東西藝術融合交汇的劇場間、上海人民出版社、2015、336

〔産業財産権〕該当無し

〔その他〕

ホームページ等 該当無し

6. 研究組織

(1)研究代表者

星野 幸代 (HOSHINO, Yukiyo)  
名古屋大学・大学院国際言語文化研究科・准教授

研究者番号：00303587

(2)研究分担者

葛西 周 (KASAI, Amane)  
東京藝術大学・音楽学部・講師  
研究者番号：00584161

邵 迎建 (SHO, Geiken)  
徳島大学・大学院ソシオ・アーツ・アンド・サイエンス研究部・教授

研究者番号：30375315

アン ニ (AN, Ni)

明治学院大学文学部・研究員  
研究者番号：70509140

楊 韜 (YO, To)

佛教大学文学部・講師  
研究者番号：70614585

西村正男 (NISHIMURA, Masao)

関西学院大学社会学部・教授  
研究者番号：80302652

(3)連携研究者

該当無し